

*:増悪を繰り返す症例には、長時間作用性気管支拡張薬に加えて吸入ステロイド薬や喀痰調整薬の追加を考慮する。

図1 ▶ 安定期COPDの管理

(文献1より引用)

日本のガイドラインでもLAMAに次にLAMA/LABAとなっています。

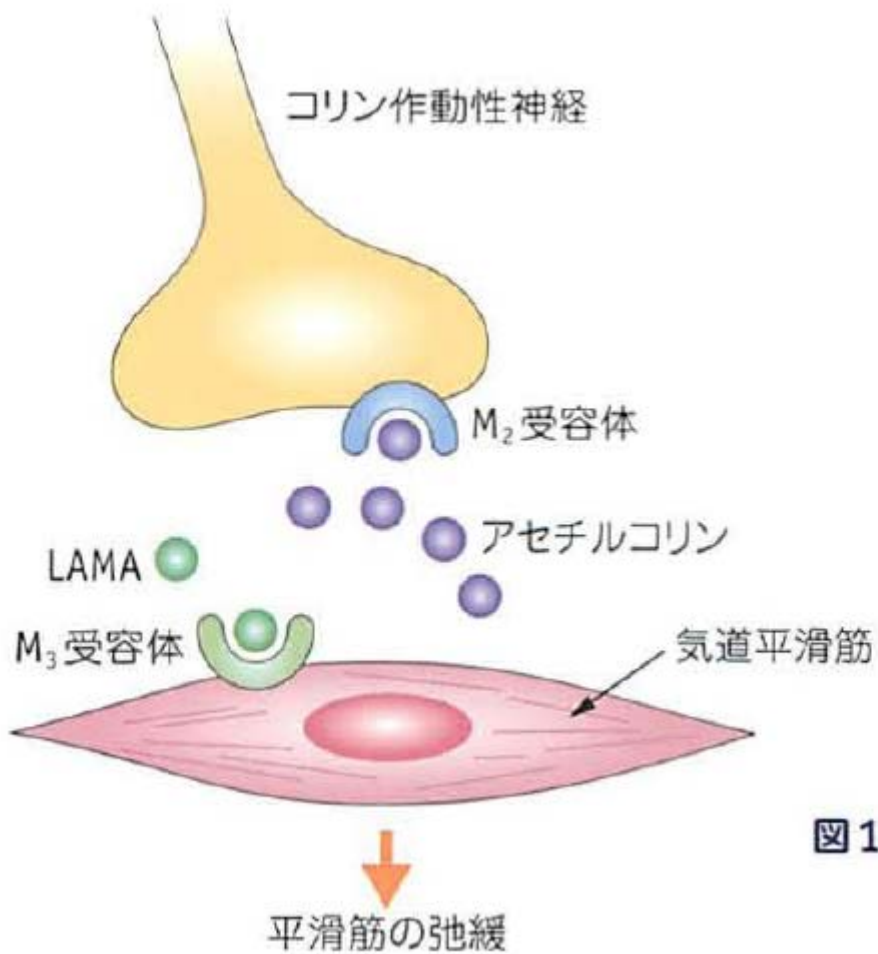
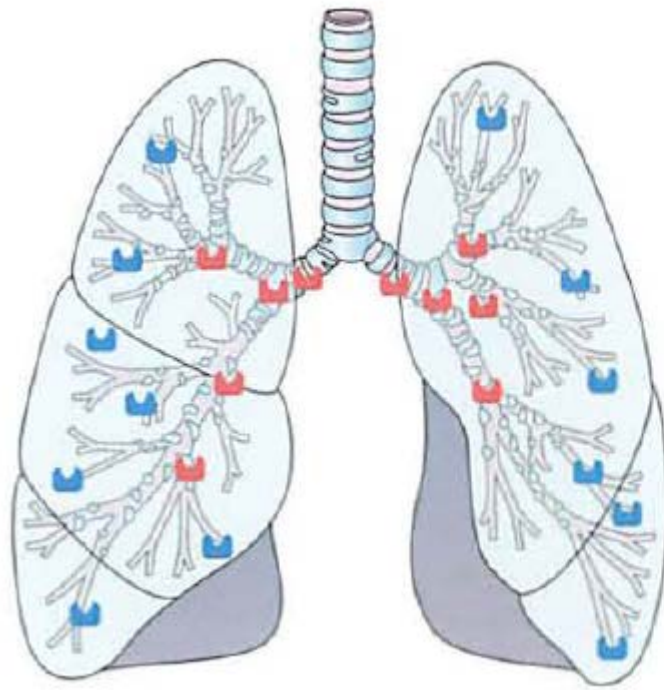


図1 ▶ LAMAの作用機序

(文献2より改変)

LAMAはM3に長期のブロックします。一方アセチルコリンの過剰分泌をコントロールするM2には短期しかブロックしません。



■ ムスカリン受容体：中枢気道に多い

■ β_2 受容体：末梢気道に多い

図1 ▶ 呼吸器系におけるムスカリン受容体と β_2 受容体の分布

アセチルコリンの作用部位のムスカリン受容体と β_2 受容体では部位が異なるようです。

LAMA

一般名	商品名	用法用量*	使用可能 噴霧回数	剤形	吸入残量確認
テオトロピウム臭化物水和物	 スピリーバ吸入用 カプセル 18 μ g (ハンディヘラー)	1回 1カプセル 1日 1回	—	DPI	なし
	 スピリーバ 2.5 μ g レスピマット 60 吸 入	1回 2吸入 1日 1回	60	ソフト ミスト	目盛りの針が赤 い領域に入っ たら残りは約 7 回 分 (14 噴霧)
グリコピロニウム臭化物	 シーブリー吸入用カ プセル 50 μ g	1回 1カプセル 1日 1回	1シート 7カプセル	DPI	なし
アクリジニウム臭化物	 エクリラ 400 μ g ジ ェヌエア 30 吸入 用, 60 吸入用	1回 1吸入 1日 2回	30, 60	DPI	10 回きざみの カウンター付き
ウメクリジニウム臭化物	 エンクラッセ 62.5 μ g エリプタ 7 吸 入用, 30 吸入用	1回 1吸入 1日 1回	7, 30	DPI	カウンター付き

基本はスピリーバレスピマットです。

喘息と異なり効果は1か月以上かかりますので経過観察がCOPDの場合は
大事です

LAMA/LABA

一般名	商品名	用法用量*	使用可能 噴霧回数	剤形	吸入残量確認
グリコピロニウム臭化物/ インダカテロールマレイン酸塩 	ウルティプロ吸入用 カプセル	1回1カプセル 1日1回	1シート 7カプセル	DPI	なし
ウメクリジニウム臭化物/ ピランテロールトリフェニル酢酸塩 	アノロエリプタ7 吸入用、30吸入用	1回1吸入 1日1回	7、30	DPI	カウンター付き
チオトロピウム臭化物水和物/ オロダテロール塩酸塩 	スピオルトレスピマ ット28吸入	1回2吸入 1日1回	28	ソフト ミスト	吸入残量確認があり、目盛りの針が赤い領域(0～6)に入ったら残りは約3回分(6噴霧)。スピリーバ®2.5μgレスピマット60吸入と噴霧回数が異なるため要注意。



図5 ▶ シーブリ®, オンブレス®, ウルティプロ® の関係 (ブリーズヘラー)

一つのメーカーでの移行は便利と考えています。



図6 ▶ フルタイム®, セレベント®, アドエア®
の関係 (ディスクス)



図7 ▶ パルミコート®, オーキシス®, シムビコート®
の関係 (タービューヘイラー)

LABAを中心とした移行も可能です。